

授業科目名 <英訳>	情報学演習 II Informatics Practice II				担当者所属・ 職名・氏名	情報学研究科 教授 吉川 正俊					
配当 学年	1回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 後期集中	曜時限	集中講義	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
授業種別	デザイン学科目										
【授業の概要・目的】											
<p>本科目は、建築学、機械工学、教育学、経営学といった情報を専門としない分野における研究で必要となる情報技術を身につけることを目的とした演習である。受講者には、まず始めに、自分に必要な情報技術のスキルセットを定義させる。その要望を受けて、講義内容の構成を行い、実習を行う。</p> <p>例えば、(A) 初級プログラミング、(B) 3Dモデリング (3D CADソフトの習得)、(C) フィジカルコンピューティング、(D) デジタルファブリケーションなどに関する演習を行う。</p>											
【到達目標】											
<p>受講生は、最新の様々な情報技術について概要を知ることができる。そして、それらの技術を習得するための方法を知ることができる。自らの専門分野において利用したい情報技術を特定し、その技術を実際に身につけて利用できるようになる。身につけた技術についてのドキュメンテーションを行い、今後継続して技術を利用することができるようになる。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>イントロダクション (1回)</p> <p>本講義の概要と、学習の進め方について説明し、さらに、講義内で実習を行うための準備を行う。また、講義時間外で自習を行うための環境について説明する。 講師と一対一で対話して各自が必要とする情報技術を明らかにし、それを獲得するための計画を作成する。</p> <p>以下が、情報技術の一例であるが、これに限定されない。</p> <p>(A) 初級プログラミング (B) 3Dモデリング (3D CADソフトの習得) (C) フィジカルコンピューティング (D) デジタルファブリケーション</p> <p>情報スキルのドキュメンテーション (1回)</p> <p>身につけた情報技術のスキルについて、ドキュメンテーションを行い、他の人と共有する方法について学ぶ。</p> <p>各自が必要とする情報技術獲得 (6回)</p> <p>計画に従って演習を行い、各自の情報技術の獲得を進めるとともに、最終課題の製作を行う。最後に、最終課題についてのプレゼンテーションを行う。</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>講義で扱う情報技術について、実際に利用できるようになることを到達目標とする。</p> <p>【成績評価の方法・基準】</p>											
----- 情報学演習 II(2)へ続く -----											

情報学演習 II(2)

授業中に課す課題 40%
最終課題 60%

[教科書]

授業中に指示する
授業で用いる講義ノートや資料は、適宜配布する。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

毎回の授業の間に、その授業で学習した内容について復習を行う。実際に身につけた技術や、やってみて失敗したことなどについて、ドキュメンテーションを行う。

(その他(オフィスアワー等))

受講者によって内容が異なるため、すべての受講者を受け入れられない場合がある。集中講義として開催するが、講義時間は講師と受講者が相談して決める。初回は講師と受講者が一対一で対話する必要があるため、早期の開講を望むものは講師にメール等で連絡を取ること。

メール等による質問は適宜受け付ける。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。